

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	環境意識啓発事業			
■事業開始年度	平成13年度			
■評価事業コード	030200 - 042	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	環境基本法			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画、北上市ごみ処理基本計画、北上市再生可能エネルギー活用推進計画			
■事業の目的と概要	市民に自然の大切さや環境に配慮した生活、事業活動の必要性を理解し、実践してもらうために環境講座の開催やエコチャレンジを実施する。生活者が、環境負荷の少ない暮らしについて考える契機となることをねらい、エネルギー、環境、持続可能な暮らしを主なテーマに、基本的な知識を幅広く学ぶ機会をつくる。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	環境講座	市民	・出前講座(生物多様性)1件	・出前講座(生物多様性)0件
02	子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ	小学4年生(親子)	・エコチャレンジ参加校:市内小学校17校、地球温暖化に関する事前説明会実施:1校	・エコチャレンジ参加者:市内の小学4年生799人、地球温暖化に関する事前説明会実施:3校(黒沢尻東、鬼柳、笠松)
03	再生可能エネルギー普及啓発事業	市民	・きたかみ子ども環境未来塾開催・黒工地域連携プロジェクトの実施。	・きたかみ子ども環境未来塾:新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止・黒工地域連携プロジェクト実施中止:新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	738	852	624	557	
人件費	4,808	4,611	3,354	2,086	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,546	5,463	3,978	2,643	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	環境講座参加者数	340名	109名	488名	235名	出前講座のうち、環境政策課担当の講座の受講者数
02	子どもエコチャレンジの取組参加学校数(小学校)	17校	17校	17校	17校	参加校数/市内小学校17校

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

エコチャレンジは順調に市内全小学校の協力により実施できており、環境教育の一環として機能している。環境講座も環境意識の啓発に役立っている。

問題点・課題等

エコチャレンジにおいては、対象が小学4年生であり、対象が理解するには難しいとの声があげられていることから、理解しやすい内容に改善する必要がある。環境講座においては、受講者数が年度によって大きく上下することから、講座開催の周知方法について検討の必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

毎年恒例のものとして定着しつつあることから、今後とも持続的な啓発を行っていく。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	北上市役所地球環境にやさしい行動計画推進事業			
■事業開始年度	平成15年度			
■評価事業コード	030200 - 046	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の努力義務(自治事務)			
■法令等の名称	地球温暖化対策の推進に関する法律			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画			
■事業の目的と概要	市の事務及び事業の実施に伴い排出される温室効果ガスの総量を、平成32年度でまでに基準年度(平成27年度)比6%削減する。また、廃棄物や複写用紙使用量を削減し、グリーン購入に適合する物品の100%調達に努める。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上市役所地球環境にやさしい行動計画推進事業	職員	・環境管理委員会及び幹事会 2回:R1実績報告・内部監査委員会:取組についての監査実施・R2実績とりまとめ	・環境管理委員会幹事会1回(3/18):次期計画の策定方針の協議・R2実績とりまとめ

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	8		4	4	
人件費	5,265		1,906	1,788	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,273		1,910	1,792	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	省エネ・省資源・グリーン購入に取り組む課等の数	未実施	43か所	43か所	43か所	節電等の省エネ行動やグリーン購入の推進に取り組む課等の数
03	温室効果ガス排出量(炭素換算)	6,709t-CO2	5,868t-CO2	5,555t-CO2	5,612t-CO2	市役所の施設が1年間に排出するCO2総量(指定管理施設を含まない)

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input checked="" type="radio"/> A. 順調</p> <p><input type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>職員による節電等の取り組みや北上新電力への切り替えによりCO2排出量が削減されている。また、省エネ・省資源・グリーン購入の取り組みを実施している。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>節電等によるCO2排出量の削減に限界がある。</p>
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>	
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>
<p>■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)</p> <p>次期計画策定の中で報告方法等の見直しを行う。</p>		<p>■今後の方向性</p> <p><input type="radio"/> I. 拡充</p> <p><input checked="" type="radio"/> II. 継続</p> <p><input type="radio"/> III. 縮小</p> <p><input type="radio"/> IV. 廃止・休止</p> <p><input type="radio"/> V. 完了</p>

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	CO2削減対策モデル事業効果検証事業			
■事業開始年度	令和2年度			
■評価事業コード	030200 - 060	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市再生可能エネルギー活用推進計画			
■事業の目的と概要	北上市あじさい型CO2削減対策モデル事業の一つで、本モデル事業で設置及び改修した設備の効果検証を行うもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	CO2削減対策モデル事業効果検証事業			①CO2削減対策モデル事業効果検証業務委託(R02.7.1~R03.1.29)②節電行動効果検証(R02.11.10~R02.12.28)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				6,353	
人件費				4,247	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				10,600	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
<input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている		
1. 直接的な受益者の範囲 <input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input checked="" type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない <input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input type="radio"/> ニーズが高まっている <input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input checked="" type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input checked="" type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)		■今後の方向性 <input type="radio"/> I. 拡充 <input type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小 <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input checked="" type="radio"/> V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	再生可能エネルギー活用計画策定・推進事業			
■事業開始年度	平成24年度			
■評価事業コード	030200 - 054	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	エネルギー政策基本法、地球温暖化対策推進法			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画、北上市再生可能エネルギー活用推進計画			
■事業の目的と概要	地域に賦存する再生可能エネルギーを積極的に活用し、住民が地球環境や地域環境に負荷をかけない暮らし方を実践することにより、低炭素で災害に強いまちの実現を目指す。地域に賦存する再生可能エネルギーの積極的な活用と省エネルギーの推進を両軸にした地球温暖化防止の方策を定めた、再生可能エネルギー活用推進計画を策定し、施策の推進を図るもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	再生可能エネルギー活用計画策定事業	市民、企業、事業所	・環境審議会開催 3回・進捗状況確認	・環境審議会開催 3回・進捗状況確認
02	再生可能エネルギー活用計画推進事業	市民、企業、事業所	①CO2削減対策モデル事業交付申請、実績報告等4回②出前講座・視察見学・取材対応	①CO2削減対策モデル事業交付申請、事業報告会、実績報告等②視察対応2回、取材対応2回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	256	79	151	330	
人件費	2,824	307	229	373	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,080	386	380	703	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	ソフト事業数	2事業	2事業	2事業	2事業	計画推進のための、ソフト事業数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

再生可能エネルギー活用推進計画後期計画を平成28年3月に策定し、低炭素化社会の実現を目指している。公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業において、効果検証を行った。

問題点・課題等

黒工地域運系プロジェクトにおいて、環境との関係性の維持が課題である。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

CO2事業の効果検証等を踏まえ、今後も環境基本計画の中で再生可能エネルギーの活用について推進、継続する。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	地域エネルギーマネジメント事業			
■事業開始年度	平成27年度			
■評価事業コード	030200 - 220	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市再生可能エネルギー活用推進計画			
■事業の概要	あじさい型スマートコミュニティ事業の一環として地域エネルギーマネジメントシステム(CEMS)を運用し、本庁舎や地域防災拠点等の公共施設の電力消費量の監視、デマンドレスポンスを実施し、エネルギー使用の最適化を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	地域エネルギーマネジメント事業	市民、公共施設利用者	エネルギーの見える化、市関連施設使用電力の再生可能エネルギー比率向上、デマンドレスポンス等のためのデータ作成業務を委託。	地域エネルギーマネジメントシステム管理業務を委託。対象施設26件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	5,834	8,223	9,296	9,290	
人件費	1,297	1,768	2,744	1,416	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,131	9,991	12,040	10,706	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	対象施設数	22件	23件	23件	26件	H29: 北上オフィスプラザ追加H30: 北上中央図書館追加R2: 和賀東中学校、二子小学校、さくらホール追加

02	市関連施設使用電力の再生可能エネルギー比率	27.4%	34.4%	30.2%	26.5%	再生可能エネルギー比率 = (A+B)/C A: 本庁舎、ソーラーパーク、地区交流センター、オフィスプラザの太陽光発電量、蓄電池放電量 B: かむいソーラーからスマートコミュニティ事業施設に供給された電力量 C: スマートコミュニティ事業施設建物使用電力量
----	-----------------------	-------	-------	-------	-------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

問題点・課題等

■目標達成状況

● A. 順調  
○ B. 概ね順調  
○ C. 遅れている

スマートコミュニティ施設で、市関連施設使用電力の再生可能エネルギー比率向上のため、エネルギーの見える化をし、電気使用量の低減を行った。

地域エネルギーマネジメントシステム各施設の保守管理を適切に行う必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

● 不特定多数に及ぶ  
○ 特定されるが多数に及ぶ  
○ 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

● 類似の事業はない  
○ 類似の事業はあるが競合はない  
○ 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

● 事業の廃止により重大な問題が発生する  
○ 事業の廃止により何らかの問題が発生する  
○ 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

○ 市民生活・企業活動の維持に不可欠  
● 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している  
○ 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

○ 1. で選択した人の大多数(70%程度)  
○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)  
● 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

● ニーズが高まっている  
○ ニーズは変わらない  
○ ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

○ 順位が高い  
○ 順位が中程度  
● 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

○ 順位が高い  
● 順位が中程度  
○ 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

● 先進的またはユニークな事業である  
○ 他と同程度の事業である  
○ 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

● 民間委託等の拡充は難しい  
○ 民間委託等の拡充が十分に可能  
○ 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

● 今以上の効率化や改善は難しい  
○ 効率化や改善を図ることは十分に可能  
○ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

収集したデータをもとにより効果的なエネルギーマネジメントを進めていく。

■今後の方向性

- I. 拡充  
● II. 継続  
○ III. 縮小
- IV. 廃止・休止  
○ V. 完了



1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課	■担当係	環境企画係
■評価事業名称	北上ライフスタイルデザインプロジェクト		
■事業開始年度	平成26年度		
■評価事業コード	030200 - 222	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	01 地球環境保全の推進	
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	北上市再生可能エネルギー活用推進計画		
■事業の概要	気候変動、資源の枯渇、エネルギー不足、人口減少等、今後増加する環境制約に適応した暮らしやまちづくりを実現するため、持続可能で環境負荷が少ない、ライフスタイルの確立と実装を目指し、モデル事業を実施する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上ライフスタイルデザインプロジェクト	市民	北上ライフスタイルデザインプロジェクト	・展勝地ライフスタイル:5/29田植え、9/21稲刈り、10/25脱穀・餅つき、2/12、26日正月関連行事・口内ライフスタイル:8/2秘密基地イベント(楽器づくり)・岩崎ライフスタイル:未利用の商品化について打ち合わせ3回(8/31、10/22、2/15)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	161	307	262	36	
人件費	4,121	5,149	3,430	1,863	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,282	5,456	3,692	1,899	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	職員等によるライフスタイルデザインワークショップ参加者					平成26年度:職員ワークショップ、平成27年度:民間ワークショップ

02	ライフスタイル活動実施回数	7回	11回	10回	9回	平成28年度:口内ライフスタイル活動、29年度:口内ライフスタイル活動・未来の暮らし方を育む県の創造シンポジウムin北上、平成30年度:口内ライフスタイル及び展勝地ライフスタイル実施、令和元年度:口内ライフスタイル、展勝地ライフスタイル及び岩崎ライフスタイルの実施、北上アカデミー開催、令和2年度:口内ライフスタイル、展勝地ライフスタイル及び岩崎ライフスタイルの実施
----	---------------	----	-----	-----	----	---

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

口内、展勝地及び岩崎ライフスタイルデザインプロジェクトを実施し、北上らしい未来の暮らし方について、理解を深めることができた。

問題点・課題等

現在の活動内容と地球温暖化防止等の環境問題と結びつけるのが非常に難しく、ライフスタイルの転換の必要性は理解されても、市民の行動意識の転換には至らない。総合計画での具体的な位置づけがなくなったことを踏まえ、まちづくりのしくみとして各部署の施策に反映させることが必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

自然環境問題等の課の所管事項範囲内で継続していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了